

城山公園を次の世代へ引き継ぐために

～ 鹿児島市城山公園保全計画を策定しました ～

鹿児島市では、自然の宝庫であり、文化財や市民の憩いの場などとしての価値ある城山公園を保全し、次の世代に引き継ぐため、「鹿児島市城山公園保全計画」を策定しました。

城山公園ってどんな公園？

- ・わが国の西南暖地に特徴的な照葉樹林が原生林に近い姿で残っていることが貴重であるため、**天然記念物(国指定)**に指定されています。
(昭和6年6月3日指定)
- ・南北朝時代の上山城や江戸時代の鶴丸城の城域の一部として、**史跡(国指定)**に指定されています。
(昭和6年6月3日指定)
- ・平成24年度の植生調査では、環境省のレッドリストなどに掲載されているウスギモクセイなどの**希少種**18科29種が確認されました。



ウスギモクセイ

城山公園は、次のような問題を抱えています。

- ・城山公園では、モウソウチク(孟宗竹)などの外来種の侵入により、城山本来の森が減少しつつあります。
- ・降雨による斜面崩壊や園路の浸食なども見られます。
- ・平成24年度の植生調査では、前回までの調査で確認されていたヤマコンニャクなど一部の希少種が確認できませんでした。



ヤマコンニャク

次の4つの取り組みにより城山公園を保全します。

① 外来種の駆除

- ・城山の植生へ特に大きな影響を及ぼすモウソウチク、トウチク、ハヤトウリの3種を「侵略的外来種」として位置づけ、駆除します。
- ・これによって、森の環境を改善し、本来の森を再生することで、希少種の回復も図ります。



モウソウチク



ハヤトウリ

② 斜面崩壊対策

- ・側溝を整備することにより、雨水の斜面への流入を抑制し、斜面の崩壊を軽減します。
- ・斜面が崩壊した場合は、城山の植生に配慮した無種子のマットなどにより復旧します。



園路整備前後のイメージ写真

③ 園路の再整備

- ・側溝の敷設と併せて、既存の園路の大部分をスロープ化し、環境に配慮した材料で舗装することにより、これまで以上に快適に散策できる空間を整備します。

④ 支障木の処置

- ・本計画を策定したことで、枯木の撤去や落下のおそれのある枝の剪定などの維持管理を、従来よりも迅速にできるようになりました。